

令和7年度に本事業で取り組む課題に応じた目標等の設定状況

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値
①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	コミュニティ・スクール導入等を背景に、多くの学校が社会に開かれた教育課程の実現に向け、地域と学校の連携・協働の体制構築が必要と考える一方で、体制構築に向けては、教員の負担増加等の懸念がある。また、コロナ禍で地域との関係が希薄化し、関係の再構築が難しいなどの意見がある。	・コミュニティ・スクールの導入に合わせ、地域学校協働活動推進員の設置を拡大する(35校配置予定)。 ・チラシの作成や研修会の開催等により本事業の活用について積極的な周知を図る。	令和6年度に実施した、地域学校協働活動推進員の配置に係るモデル検証にて、教員の負担軽減や地域の連携が深まるなど一定の成果が見られたことから、令和7年度は推進員の設置拡大を図る。	地域学校協働活動推進員等が、教育課程内における活動の調整等を担うことで、学校の負担軽減に寄与する。	地域と協働した教育活動を進めていくことを目的に、地域学校協働活動推進員等(地域コーディネーター含む)が、教育課程内における活動において活用された学校数。	45※	校	67

※45校は、令和6年度末における地域学校協働活動を実施している学校の内、教育課程内における活動を実施している学校数。